



リーフかさめい

笠縫学区人口（5月31日現在）
男性／5,417人 女性／5,741人
世帯数／4,753世帯

発行：笠縫学区まちづくり協議会
連絡先：笠縫まちづくりセンター
website：http://www.machikyou.jp/kasanui/

TEL・FAX：077-562-0071
Eメール：kasanui@machikyou.jp



地域のことは、地域で 住みたいまち・住んで良かったまち笠縫へ

笠縫学区まちづくり協議会会長の竹村です。

昨年度に会長に就任以来、新型コロナウイルス感染症のため思うように事業展開ができず、学区民の皆様が楽しみにされていた「ふれあい広場」をはじめ、多くの事業を中止せざるを得なく、大変寂しい思いを抱きました。

しかし、この一年、地区防災計画実行のために、災害対策本部の備品を購入することができました。有事への備えに対し、前進できたものと思います。これをより実のあるものとするために危機対応に努めてまいります。

本年度は、三密対策と状況に応じた判断をし、工夫を加えて各事業を積極的に行ってまいりたいと思いますので、学区民の皆様には、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



笠縫学区まちづくり協議会
会長 竹村 俊夫

◇令和3年度◇

笠縫学区まちづくり協議会 定期総会（書面議決）

5月29日（土）笠縫まちづくりセンターにおいて、令和3年度笠縫学区まちづくり協議会定期総会を実施しました。今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「書面表決書」の提出による、書面議決形式としました。議決権を有する者は56人で、表決書の集計の結果、全員の賛成により、提出議案5件について、すべて原案通り可決承認されました。

総会で承認された議案

第1号議案

令和2年度事業実績報告

第2号議案

令和2年度収支決算報告および監査報告

第3号議案

令和3年度正副部会長の承認

第4号議案

令和3年度事業計画

第5号議案

令和3年度収支予算

専門部会の正副部会長（変更分）

専門部会	氏名
子ども育成部会 部会長	藤田 健
子ども育成部会 副部会長	三反田 悠

任期：令和3年度総会から令和4年度総会まで



その他、詳細につきましては、本紙5ページ及びまちづくり協議会のホームページに掲載しています。

まち協ホームページ

<http://www.machikyou.jp/kasanui/com/>



「大きく育て わたしの野さい」

2021 年
5 月 18 日

主催：笠縫学区まちづくり協議会 子ども育成部会

サツマイモ苗植え

野菜の栽培経験を通して
植物への親しみや世話をする楽しさ、
喜びを味わう。

前日まで雨が続き開催を心配しましたが、当日は雨も上がり
元気いっぱいの子もたちと地域ボランティアさん、まち協メ
ンバーと一緒にサツマイモの苗植えを行いました。

「大きくなあれ！」と魔法の言葉をかけて苗植えしたサツマイ
モの秋の収穫を楽しみに大切に育てていきます。いろいろな方
のご支援ありがとうございます。

日時：5 月 18 日（火）

笠縫小学校 2 年生

場所：農業体験農園（下笠町）

「笠っ子アドベンチャーパーク」



子どもたちの声

- 大きなサツマイモになってほしい
- もっと植えたかった
- 楽しかった

校外実習「米作りから学ぼう」

2021 年
5 月 19 日



ふるさと笠縫の記憶絵より抜粋

田植えに至るまでに、籾の種
まきや代掻きなど、地域の方
々にたくさんお世話になり、
ありがとうございます。

「わたしたちの食生活を支える食糧生産」

田植え ヒノヒカリの苗を植えました

お米栽培体験を通じて農業に関心を持ち、
これからの農業のあり方や
食糧生産について調べ、考えよう！

早めの梅雨入りで雨天順延としていましたが、栽培
時期もあり今回は小雨の中実施しました。

ほとんどの子どもたちが初めての体験のようで戸惑
いながらも、互いに励ましたり、途中で歌いながら苗
植えしたり、貴重な田植え体験になったようです。

子どもたちの声

- 貴重な体験ができてよかった
- 足が抜けなくて大変でした
- たまに、こけそうになって怖かったです
- 植えるのは大変だったけど、お米が育つのが
楽しみです

日時：5 月 19 日（水）

笠縫小学校 5 年生

場所：上笠町の水田

地域協働：農事組合法人 上笠ファーム様協力

まちづくりセンターを拠点に活動する自主教室の紹介

子育て中ママさんたちの「のびのびサークル」さん

ちびっこママさんたちの情報交換や体験活動の場です

2021年
5月20日

主に未就園のちびっこママさんたちの情報交換や体験活動の場です。

現在 14 組が登録され、第 1、3、4 木曜日に活動されています。

お邪魔させていただいた日には、地域の子育て先輩の支援で「ピアノで歌おう」や「はらぺこあおむしの折り紙」、「組木細工を使用した昔話桃太郎」など、楽しさ満載の活動となっていました。

桃太郎が鬼を退治する前に、子どもたちが前に出てきて鬼を倒すなどのハプニングもありましたが笑顔の絶えないひと時でした。



ピアノで
歌おう♪



組木細工の
桃太郎



森林環境学習「やまのこ」

森林のことを考えよう

森の木々が生活材料になったり、水や空気をきれいにしたり、災害を防いでくれたり、遊びの場にもなったり、そんな森林について学習していました。森や山の木々を守り続け、木々と仲良くするにはどんなことが出来るか考え実践していく、体験学習でした。

日時：5月24日（月）・25日（火）

笠縫小学校 4 年生

場所：滋賀県立 近江富士花緑公園（野洲市）

子どもたちの声

- 間伐をすることで、森林の環境が守られていることが理解できた
- 紙やえんぴつなど身近なものが木からできていることに気付いた
- 年輪が 1 年にひとつずつ増えていくことが分かった
- 普段は見られない生き物を見ることが出来た
- 木を切り倒すときの迫力がすごかった

間伐見学



チェーン・ソーでヒノキを切り倒す間伐作業を見学。

丸太切り



仲間と協力しながらのこぎりで丸太切りをしました！

森の宝さがし



丸太クラフト



グループ毎に山の中を案内してもらい、面白い形の葉や香りのよい植物を探しました。

2021年
5月24・25日

笠縫歩こう会「元気に完歩！」

2021年
5月30日

主催：笠縫学区まちづくり協議会 文化・健康・スポーツ部会

共催：子ども育成部会

大人 36 名、子ども 18 名が参加して、好天のもと「笠縫歩こう会」を開催しました。午前 9 時 30 分に笠縫まちづくりセンターを出発した参加者は、新型コロナウイルス感染対策として前後左右の間隔に気を付けながら、目的地の草津川跡地公園「a i 彩ひろば」に向かいました。

途中、下笠町の「老杉神社」鳥居前に設置された史跡案内看板の前で地元の山元由美さんより、毎年 2 月に行われるエトエト祭りの起源などの説明を受けました。

目的地の「a i 彩ひろば」では、今回はコロナ対策のため昼食も取らず、大いに盛り上がるゲームもできませんでしたが、それでも子どもたちは芝生の広場を走り回り、短時間の休憩を楽しんでいました。

復路は、草津市総合体育館を経由する経路を取り、予定時間を少し超えましたが一人の脱落者もなく元気に笠縫まちづくりセンターに到着しました。



参加者の声

日時：5月30日（日）
目的地：草津川跡地公園
「a i 彩ひろば」

- 老杉神社は知っていたがエトエト祭は知らなかった
- 公園の芝生と青空が気持ちよかった
- 完歩できてよかった
- 笠縫の広さと良さを実感した

生徒会活動方針についてリモートで交流

2021年
6月4日

松原中学校オンライン生徒総会

オンライン会議など最近よく聞くようになりましたが、松原中学校でもオンラインによる生徒総会が開催されると聞き、どのようなものなの取材してきました。

例年、体育館に全校生徒が一斉に集まって生徒総会開催でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、Web会議システム（Microsoft Teams）を活用することにしたそうです。

生徒会本部、執行委員が集合した多目的教室と各クラスが校内ネット環境で結ばれ、各教室の液晶型電子黒板で「見る・聞く・話し合う」が双方向で行われました。途中、カメラの切り替えやネット回線制限などで多少戸惑うような場面もありましたが、意見交換なども効果的に進め、全般的には一体感を持った生徒総会となりました。

今回の総会は、対面、密を避ける手段としてではなく、ICT（情報通信技術）教育実践の場となっているように感じられました。今後、従来の枠を超えた使い方が期待できそうです。指導に当たられた先生方、開催に向けて準備に余念のなかった生徒のみなさん、お疲れさまでした。



各教室からの画面点検中



カメラを前に緊張の生徒会役員



各教室での参加のようす

日時：6月4日（金）
場所：松原中学校

令和 2 年度 主な事業実績

(重点事業)

■地区防災計画を基に、被害状況報告訓練を実施

■笠縫ツナガリ隊での、次世代が地域に関わりやすい体制づくりの検討

■模擬高齢者捜索&声かけ体験

(その他の事業)

・地域協働合校事業（いもほり体験）

・笠小 3 年生との交流（グラウンドゴルフ交流会）

・防災研修会（ワークショップ）

・ふるさと笠縫記憶絵カルタ制作会議

・笠縫まちづくりセンターの運営・管理

令和 2 年度 決算・令和 3 年度 予算

令和 2 年度 決算

【単位：円】

収入	交付金及び補助金	8,405,000
	その他収入	2,020,889
	R1 繰越金	1,561,383
	収入合計	11,987,272
支出	まち協運営費	3,975,644
	町内会活動費	336,809
	専門部会費	6,204,935
	支出合計	10,517,388
繰越金（A）		1,469,884
指定管理料（まちづくりセンター維持管理決算）		
収入（指定管理料 他）		19,319,066
支出（人件費・委託費 他）		18,473,023
繰越金（B）		846,043
基 金（R3.3.31 現在）		
予算調整基金		2,301,380
災害準備金		3,365,074
HP かさぬい積立金		160,125

令和 3 年度 予算

【単位：円】

収入	交付金及び補助金	9,760,000
	その他収入	2,150,000
	R2 繰越金（A+B）	2,315,927
	収入合計	14,225,927
支出	まち協運営費	4,753,714
	町内会活動費	2,090,000
	専門部会費	7,382,213
	支出合計	14,225,927
指定管理料（まちづくりセンター維持管理予算）		
収入（指定管理料 他）		19,446,000
支出（人件費・委託費 他）		19,446,000

詳細な資料は、まちづくり協議会ホームページに掲載しています。

令和 3 年度 重点事業計画

●地区防災計画の運用と実施

令和元年度に地区防災計画を策定し、令和 2 年度より計画に沿って防災訓練（被害状況報告訓練）の実施や検証を行いました。今年度も引き続き計画に沿った訓練等の実施、検証、計画の見直しを行い、誰一人取り残さない防災体制の確立に取り組みます。

●地域活動の担い手の減少による担い手の確保

人と人とのつながりを大切に、働きに出ている人にも地域に関わりやすい仕組みづくりや、やりがいを感じて取り組んでもらえる地域活動となるよう取り組みを工夫します。

●高齢者の見守り体制づくり

誰もがいきいきと暮らせるまちをめざし、地域で安心して暮らせる仕組みづくりが求められています。一人暮らしや生活に不便をきたしている高齢者の日常生活の手助けや支援、近所同士の見守りや仕組み、福祉関係者間の連携などの体制づくりに、引き続き取り組みます。

●自然環境保全地区の整備

人と身近な自然との関りを通じて守り育まれてきた地域資源を、次世代に引き継ぐため、自然と触れ合い、自然への興味や関心を持つきっかけづくりとなる緑と潤いのある安らぎの場づくりに取り組みます。

令和 3 年度 主な事業計画

■笠縫学区ふれあい広場

■市長とまちづくりトーク

■地域課題解決事業（防災対策委員会・笠縫ツナガリ隊・自然環境保全地区整備）

■地域医療と福祉を考える会議

●自治連合会

敬老事業（各町内会）、ふれあい広場参画・運営支援、まち協各事業支援、環境整備事業、町内学習懇談会 他

●情報発信部会

「リーフかさぬい」発行、まち協ホームページ更新 他

●地域福祉部会

福祉活動担い手研修、小学校とまち協の交流会、ふれあいサロン、地域サロン交流会、敬老事業支援 他

●文化・健康・スポーツ部会

歩こう会、ニュースポーツ講座、健康推進講座、グラウンドゴルフ大会、チャレンジスポーツデー、健康のまちづくり推進事業 他

●子ども育成部会

すこやかセミナー、あいさつ運動、かさぬい☆わんぱくっ子事業（社会見学・体験事業、子ども体験事業、もちつき体験） 他

●地域安全部会

ふれあいパトロール、子ども 110 番の家、防犯研修会、防犯街頭啓発、防災研修会、笠縫ままもり隊、防犯力メロ設置 他

●まちづくりセンター事業

センター運営・管理、やすらぎ学級、人権講座、体操講座、カルチャー講座 他

◆令和 3 年度◆

笠縫学区自治連合会

町内会長一覧（敬称略）

会 長

副会長

副会長

上笠町第一

上笠町第二

上笠町第三

上笠町第四

上笠町第五

上笠町第六

○・H プラザ草津

笠縫団地

野村西町

野村南町

丸ノ内町

野村中央町

下笠町馬場

下笠町下出

下笠町井之元

下笠町市場

下笠町北出

下笠町寺内

下笠町南出

下笠町小屋場

下笠町浜

下笠町松原

松陽台

ユートピアタウン下笠

中島善昭

小寺健治

寺田良彦

宇野良彦

野添弘

山元忠之

三上 二

堀田政男

堀田政男

小川茂行

木村一也

鯛佑樹

松村幸子

吉田良美

野添弘

中村 壽男

吉田良美

矢野卓哉

益井美邦

中橋民男

難波英裕

木村 春雄

山中健司

羽尻利昭

松村幸子

藤木直

地域トピック

下笠・野村 3 丁目地先で
道路改良進む！

下笠町南部の小屋場地先から ai 彩ひろば北側の道路に通じる下笠 25 号線（L～約 100m / W6m）が、去る 4 月 27 日に開通しました。

地元の皆様の深いご理解があり、徒歩や自転車でひろばを訪れたり、自動車等で浜街道・メロン街道を利用する場合の通過道路として大変便利になっています。

これを契機に、横断歩道の路面表示と遊具の増設及びグラウンドゴルフのスタート及び 8 ホールの位置を設定していただき、広場が世代を超えて一層賑わうことを願っています。



一方、野村運動公園の北側道路（県道下笠・大路井線）が、くさつシティアリーナ（体育館）前から幅員が 12 m に広がり、市道大江・霊仙寺線との交差点が改良されると付近の交通渋滞が幾分か緩和されます。12 月中旬の開通が待ち遠しいです。

加えて、運動公園が隣接学区内に整備される（仮称）



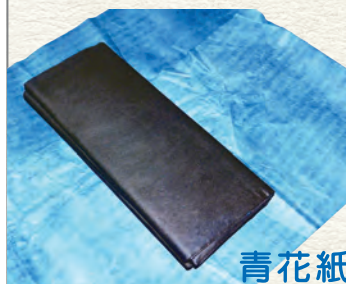
草津市立プールとつながり、学区を超えての活動エリアとして、双方のまちづくりの活性化が期待されるのではないのでしょうか。

◇ 笠縫紀行 ◇
おも
小判花への想い

草津市立草津宿街道交流館提供

昭和 56 年に市の花に指定された「青花」の季節を迎えている。花摘みは、炎天下での過酷な労働のため「地獄花」とも呼ばれてきた。映像作品・草津の特産物「青花と青花紙」を制作するため、平成 3 年に「青花紙」が仕上がるまでの工程取材したことが懐かしい。

青花紙は、コバルトブルーの青花の色素を和紙に染みこませ、天日で乾燥させたもので、友禅染等の下絵用の絵具として利用されている。



青花紙

草津市立草津宿街道交流館提供

ところが、今や化学染料に押されており、青花紙を作る栽培農家は、下笠町の 1 軒になった。花弁以外の葉や茎に、血糖値の上昇を和らげる成分が含まれていることがわかり、クッキーやお茶などに商品化されている。青花紙の製造技術が途絶えないように、令和 2 年 8 月には、「草津青花紙製造技術保存会」が結成されたことは意義深い。栽培農家が「青花紙」を生産しなくなると、農家の現金収入が途絶え、

「青花」の名称は、「地獄花」から「小判花」に変わることとはなくなる。「青花」が市の花である限り、「青花」と「青花紙」は当市の特産物として残って欲しい。（H・K）

Information

楽しもう！ つながろう！

11 月 7 日（日）開催予定
「2021 笠縫学区ふれあい広場」企画委員募集！

まつりに興味のある高校生～大人のみなさん！
自分のアイデアをまつりに活かしませんか？

日 時：第 1 回目の会議 令和 3 年 7 月 28 日（水）19：30～
募集人数：若干名
活動期間：令和 3 年 7 月～12 月
申込期限：令和 3 年 7 月 20 日（火）

お申し込み・お問い合わせ

笠縫学区まちづくり協議会事務局
（笠縫まちづくりセンター内）

TEL/FAX：077-562-0071
MAIL：kasanui@machikyuu.jp

委員はチョットという方
アイデアを募集します



編集後記

当号から多少雰囲気も変え 2 か月毎の発行になりましたが、いかがでしたでしょうか？
これからも地域コミュニティ広報紙として「住みたいまち・住んで良かったまち笠縫」の応援団として、頑張っていきます。次回は 9 月 1 日に発行します。（O.K）